

平成17年度 事務事業評価表					
〔様式1〕					
記入年月日	平成17年4月28日			記入者	
内線	3422				
部 名	建築部	課 名	建築総務課	課長名	内田五生
事務事業名	地区計画推進経費				
予算上の事務事業名	地区計画推進経費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード			24210	
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政策名	第4章 美しいまちなみと良好な居住環境を創造します				
基本施策名	第2節 良好な住まいづくりの推進				事業開始年度
施策名	第1施策 良好な住環境の創造				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	都市計画法、建築基準法、地区計画等アドバイザー派遣要領				
3 個別計画の概要	概要				
計画名	地区計画、建築協定の推進			都市計画法による地区計画、建築基準法による建築協定の各制度の推進を図る	
計画年次	9	年度～		年度	
4 事業形態の区分	研修・講座 ▼				
5 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果) (2) 対象(誰、何)				
計画的に市街地整備を図るべき地区、良好な環境の維持保全をすべき地区等について地区計画、建築協定等を推進するとともに、地域特性を生かした魅力あるまちづくりを推進するため、アドバイザーを派遣し市民のまちづくり活動を支援する。			市民等で構成されたまちづくりを行おうとする団体		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「矢部駅及び周辺整備に関する市民の会」へ3回派遣(4/28,7/28,9/30)</li> <li>・「豊町まちづくり協議会」へ3回派遣(7/27,9/10,9/30)</li> <li>・「建築協定連絡会」へ1回派遣(11/2)</li> <li>・「上鶴間道正山土地区画整理組合」へ1回派遣(2/1)</li> </ul>					
6 関連・類似事業や他市の状況	地区計画の推進を図っている行政団体では、アドバイザーの派遣等の支援制度を設けている場合が多い。				
7 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	451	418	398	708	552
一般財源	451	418	398	708	552
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	16,780	16,020	16,140	16,140	16,140
事業コスト合計(a)	17,231	16,438	16,538	16,848	16,692
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	地区計画推進アドバイザー派遣			対象名称(単位)	派遣回数(回)
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	180	300	240	300	300
対象数	6	10	8	10	10
単位あたり経費(円)	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
前年度比		1.00	1.00	1.00	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	派遣回数（回）	指標式と指標の説明		まちづくりの会合への派遣回数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	6.0	10.0	8.0		
目標	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
目標達成度	0.60	1.00	0.80		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	習熟度達成回数（回）	指標式と指標の説明		参加者の90%が習熟や理解を示した派遣回数 / 派遣回数 × 100 派遣した会合において、制度の習熟やまちづくりへの理解について、 参加者の9割が理解を示した派遣回数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	4.0	7.0	7.0		
目標	6.0	10.0	8.0	10.0	10.0
目標達成度	66.7	70.0	87.5		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
B	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
B	<input type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[	]：良好な状態を維持する事業			
	[	]：概ね良好な状況である事業			
	[	]：見直しを行う必要がある事業			
	[	]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		自発的なまちづくりを望む市民にとっては、必要不可欠な制度であり、継続して実施する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 市民参加によるまちづくりをより円滑に進める上で、必要不可欠な市民の合意形成に向けて、ソフト的な技術支援のできるアドバイザー派遣が望まれる。			14 課題として認識されたこと 習熟度達成評価の充実。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			